

第 45 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

学園祭総括報告書

学園祭総括報告書

筑波大学学園祭実行委員会決算報告書

目的の評価

目的の評価補足資料

第 45 回雙峰祭アンケート

筑波大学学園祭実行委員会

第 45 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

学園祭総括報告書

I. 概要

II. 詳細

I. 概要.....	5
A. 名称.....	5
B. 目的.....	5
C. テーマ.....	5
D. 日程.....	5
E. 会場.....	6
F. 主催・後援.....	6
G. 運営組織.....	6
H. 企画.....	6
II. 詳細.....	2
A. 委員長団.....	2
B. 財務局.....	3
C. 総務局.....	4
D. 広報宣伝局.....	5
E. 渉外局.....	9
F. 推進局.....	9
G. 総合計画局.....	11
H. 情報メディアシステム局.....	3
I. ステージ管理局.....	4
J. 本部企画局.....	7
K. 案内所運営部会.....	10
L. 調査専門部会.....	10
M. ブランディング専門部会.....	11
N. その他の業務.....	12

特に断りのない限り、本文書内の日付は平成 31 年及び令和 1 年のものである。また、筑波大学学園祭実行委員会は以下「学実委」、学園祭実行委員は以下「実行委員」、総括報告書は以下「総括」、実行計画書は以下「実計」、企画団体責任者連絡集会は以下「企団連」、ステージ組合は以下「ステ組」、全学学類・専門学群代表者会議は以下「全代会」、学内行事委員会は以下「内行」、企画を運営するサークルおよび一般学生団体および個人（教職員も含む）は以下「企画団体」、ゲストを含む企画団体の構成員は以下「企画団体構成員」、大学会館エリアは以下「会館エリア」、体育・芸術エリアは以下「体芸エリア」とする。学園祭実行計画書追加提出分にて記述した事項については、実計との相違点としては扱わない。

I. 概要

A. 名称

第 45 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

B. 目的

筑波大学学園祭は、学生のみならず、教職員を含めた大学全体、そして地域の力があって成り立っている。

本年度の学園祭は筑波大学に関わる人々がそれぞれ自らの活動を表現・発信し、普段筑波大学に足を運ばない人にとっても「開かれた」学園祭とし、来場者を含む各々が学園祭に参加することによって、これを感じ取る場とする。

学実委が、上記の目的を達成できたかを評価するために、必要な調査を行い、これに基づいて内行が学園祭終了後に「目的の評価」を作成する（詳細は「II.詳細 L.調査専門部会」）。

C. テーマ

「TSUKUBarium」

D. 日程

準備日・前夜祭：令和元年 11 月 2 日（土） ～21:00

本 祭 1 日 目：令和元年 11 月 3 日（日） 10:00～21:00

本 祭 2 日 目：令和元年 11 月 4 日（月） 10:00～20:30

片 付 け 日：令和元年 11 月 5 日（火） 9:00～

※ 準備日の 18:25～20:45 を前夜祭、本祭 2 日目の 18:00～20:30 までを後夜祭とした
（詳細は「II.詳細 H.情報メディアシステム局、I.ステージ管理局、J.本部企画局」）

※ 以下、前夜祭開始時から後夜祭終了時までを当日と表記する

※ 当日とは企画が行われている時間を指し、本祭 2 日目とは企画開始から同日 21:00 までとし、それまでには撤収するよう企画に指示した

※ 片付け日はそれぞれの作業が終わり次第終了とした

E. 会場

1. 屋外

第二エリア、第三エリアから体芸エリアまでのペDESTロリアンデッキ沿い

2. 屋内

- | | |
|--|----------------------------------|
| ☐ 1A、1B、1C、1D、1E、1H 棟 | ☐ 開学記念館 |
| ☐ 2B、2C、2D、2H 棟 | ☐ 総合研究棟 B |
| ☐ 3A、3B 棟 | ☐ 人文社会学系棟 |
| ☐ 5C、6A、6B 棟 | ☐ 中央図書館 |
| ☐ 大学会館本館、総合交流会館 | |

F.主催・後援

主催：全代会

資金協力：筑波大学紫峰会基金

一般社団法人茗溪会

筑波大学基金

後援：つくば市

G.運営組織

筑波大学学園祭実行委員会

H.企画

実計通りに行った。

II. 詳細

A. 委員長団

1. 渉外活動

実計通りに行った。

2. 各種規則の制定

(1) 協賛の規制

① 金銭協賛

実計通りに行った。

② 物品協賛

実計通りに行った。

(2) 酒類規制

実計通りに行った。

3. 学実委内業務の監査及び補佐

実計通りに行った。

4. 学園祭実行計画書及び学園祭総括報告書の作成

実計通りに行った。

5. 当日運営の統括

(1) 車いすの借用

実計通りに行った。

(2) 授乳室対応

実計通りに行った。

(3) 電話対応

実計通りに行った。

6.使用場所の申請

実計通りに行った。

B. 財務局

1. 予算案作成

一次予算案・二次予算案ともに、学実委内で承認を得た後、全大会の承認を得て、大学へ提出した。各予算案は晴天時を想定して作成し、悪天候時、中止時の変更点を記載した。

2. 金銭管理

実計通りに行った。

3. 運営資金の調達

(1) 学園祭学生分担金

学園祭運営資金として、学生分担金の集金を行った。詳細は別途資料「令和元年度筑波大学学園祭実行委員会決算報告書」を参照。

(2) 筑波大学紫峰会基金 課外教育行事援助金

筑波大学紫峰会基金に課外教育行事援助金を申請し、100 万円の援助を受けた。

(3) 茗溪会援助金

茗溪会に学生活動支援事業援助金を申請し、20 万円の援助を受けた。

4. 企画団体物品支給制度の実施

実計通りに行った。

5. 保険の管理

(1) 施設所有者・管理者賠償責任保険

実計通りに行った。

(2) 生産物賠償責任保険

実計通りに行った。

(3) 動産保険

実計通りに行った。

(4) 普通傷害保険

実計通りに行った。

6. 決算報告書の作成

実計通りに行った。

C. 総務局

1. 一般企画団体（学術参加枠・芸術祭参加枠を含む）の募集及び登録受付

(1) 募集要項の作成

実計通りに行った。

(2) 登録方法

実計通りに行った。

(3) 企画責任者本人確認

実計通りに行った。

2. 学術参加枠の注意事項及び説明

実計通りに行った。

3. 一般企画芸術祭参加枠の注意事項及び説明

実計通りに行った。

4. 企画団体の情報管理

実計通りに行った。

5. 企画団体への各種連絡・指示

(1) 企画募集説明会

実計通りに行った。

(2) 企画団体責任者連絡集会

実計通りに行った。

(3) 各種マニュアル

実計通りに行った。

(4) 企画登録証

実計通りに行った。

6. 会場清掃

実計通りに行った。

D. 広報宣伝局

1. 広報宣伝活動

(1) オフィシャルポスターの掲示

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、「令和元年度オフィシャルポスター掲示依頼先リスト」に記載していなかった施設にも、追加で掲示を依頼した。追加依頼分については、別添資料「令和元年度オフィシャルポスター掲示依頼先リスト追加分」を参照。

(2) 情報誌への広告掲載

実計通りに行った。

(3) 横断幕の設置

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、台風接近に伴い市役所からの要請があったため、10月11日（金）に一時撤去を行い、10月20日（日）に再設置した。

(4) 公共交通機関への広告掲示

オフィシャルポスターの制作が遅れたことから、株式会社エキスプレス広告社へのポスターデザイン審査依頼が間に合わず、実施できなかった。

(5) 広報物の配布

配布予定だった広報物の制作が遅れたことから、つくば市役所への申請が間に合わず、実施できなかった。

(6) 学内での広報宣伝活動

① カード立て

実計通りに行った。

② 大学説明会における配布活動

実計通りに行った。

③ 宣伝看板

実計通りに行った。

④ 雙峰祭通信

実計通りに行った。

⑤ 宣伝ポスター

実計通りに行った。

⑥ カウントダウン看板

実計通りに行った。

⑦ 雙峰祭旗設置

実計通りに行った。

⑧ 地図付き案内板

実計通りに行った。

⑨ 雙峰祭装飾大看板

実計通りに行った。

⑩ マスコットキャラクターパネル

他の業務との調整の結果、実施しなかった。

⑪ マスコットキャラクター顔出し看板

他の業務との調整の結果、実施しなかった。

⑫ 学食トレイ

実計通りに行った。

(7) SNS を用いた広報宣伝活動

実計通りに行った。

2.学園祭公式テーマの募集・決定

(1) 目的

実計通りに行った。

(2) 募集方法

実計通りに行った。

(3) 募集期間

実計通りに行った。

(4) 投票方法

実計通りに行った。

(5) 投票期間

実計通りに行った。

(6) 著作権

実計通りに行った。

3.オフィシャルポスターの制作・管理

(1) 発注先

実計通りに行った。

(2) 配布

実計通りに行った。

4. オフィシャルパンフレットの制作・管理

(1) 発注先

実計通りに行った。

(2) 配布

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、来場者への案内を円滑に行うため、本部企画局本部テント、福引所、グッズ販売所、大学会館ステージでも配布を行った。

5. マップの制作・管理・配布

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、発注先に関しては、費用を再検討した結果、株式会社東京カラー印刷に依頼した。また、パンフレットが不足した際に、代わりになるものとして配布が可能なため、本部企画局本部テント、福引所、グッズ販売所、大学会館ステージでも配布を行った。

6. 当日放送機材の準備・管理

(1) 設置期間

実計通りに行った。

(2) 設置場所

実計通りに行った。

7. 広報宣伝の管理

(1) 企画宣伝活動の期間

① 一次宣伝

実計通りに行った。

② 二次宣伝

実計通りに行った。

③ 当日宣伝

実計通りに行った。

(2) 使用できる宣伝媒体

① 宣伝用配布物

実計通りに行った。

② 宣伝用掲示物

実計通りに行った。

8. 企画宣伝支援

(1) 企画宣伝用エリア別看板

実計通りに行った。設置期間は、10月20日（日）～11月5日（火）であった。

(2) 学園祭特設掲示板

実計通りに行った。

E. 渉外局

1. 運営資金の調達

(1) 構成員援助金

実計通りに行った。

(2) 協賛金

実計通りに行った。

(3) 個人協賛

実計通りに行った。

2. 物品調達

実計通りに行った。

F. 推進局

1. 保健衛生の管理

(1) 保菌検査

実計通りに行った。

(2) 検食

実計通りに行った。

(3) 消毒液の配付

実計通りに行った。

(4) 水道の管理

① 水道ネット

実計通りに行った。

②水道の制限

実計通りに行った。

③仮設水道の設置

実計通りに行った。

④手洗い水道の設置

実計通りに行った。

(5) 食品の回収

実計通りに行った。

(6) 調理場

実計通りに行った。

2. 各種物品申請

(1) 借用物品の貸出し

① 機材

実計通りに行った。

②テント

実計通りに行った。

③調理器具

実計通りに行った。

(2) 宣伝用看板の貸出し

実計通りに行った。

3. 各種物品購入

実計通りに行った。

4. 各種物品調達

(1) レンタル会社を通じての物品調達

実計通りに行った。

(2) リヤカー

実計通りに行った。

5. 資金調達

実計通りに行った。詳細は別途資料「令和元年度筑波大学学園祭実行委員会決算報告書」を参照。

G. 総合計画局

1. 会場配置計画

実計通りに行った。

2. 電気計画

(1) 仮設分電盤

実計通りに行った。

(2) 仮設コンセント

配線上不要となったため、以下の場所には設置しなかった。

□ 1C 棟 4 階

□ 1E 棟 3 階、4 階

3. 机・椅子移動計画

実計通りに行った。

4. 美化計画

(1) 共用ごみ箱

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、必要だと判断したため、設置場所として以下の場所を追加した。

- ☐ 1A 棟 1 階食堂
- ☐ 休憩所
- ☐ 人文社会学系棟 2、3、4 階給湯室

(2) 臨時ごみ集積所

実計通りに行った。

5. 総合交通計画

(1) 交通規制

① 期間

実計通りに行った。

② 規制内容

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、中央図書館南道路において企画団体の車両と一般車両との区別を明確化するため、搬入搬出許可証を企画団体に発行した。

(2) 自転車撤去

実計通りに行った。

(3) 特設駐輪場の設置

実計通りに行った。

(4) 駐車場の開放

実計通りに行った。

(5) 看板設置

実計通りに行った。

H. 情報メディアシステム局

1. システムの開発及び情報基盤の維持・管理

(1) 雙峰祭オンラインシステム

実計通りに行った。

(2) 学実委内情報環境の維持・管理

実計通りに行った。

(3) ソフトウェアライセンス・ドメイン等の情報系契約の維持・管理

実計通りに行った。

(4) 当日の通信インフラの構築・管理

実計通りに行った。

(5) 委員会開催企画で使用するシステム等の開発・運用

実計通りに行った。

2. 各種 Web サイトの制作・管理

実計通りに行った。

3. 各種映像の制作

実計通りに行った。

4. 委員会開催企画

(1) 学園祭生中継プロジェクト

① 概要

実計通りに行った。使用した媒体は YouTube Live・BiVi つくば筑波大学サテライトオフィス・サテライトスタジオ内ディスプレイであった。

②著作権対応

実計通りに行った。

③ 実施場所

実計通りに行った。

5. 写真・映像の肖像権についての対応

実計通りに行った。

I. ステージ管理局

1. ステージ企画団体の募集及び登録受付

(1) 募集の周知

実計通りに行った。

(2) 登録方法

実計通りに行った。

(3) 企画責任者本人確認

実計通りに行った。

2. 企画団体の情報管理

実計通りに行った。

3. 企画団体への各種連絡・対応

(1) ステージ組合

実計通りに行った。

(2) 企画団体への対応

実計通りに行った。

4. 前夜祭における各ステージの管理・運営

実計通りに行った。

5. 本祭における各ステージの管理・運営

(1) UNITED ステージ

実計通りに行った。

(2) 松美芝生

実計通りに行った。

(3) 大学会館

実計通りに行った。

(4) 1A ステージ

実計通りに行った。

6. 後夜祭におけるステージの管理・運営

実計通りに行った。

7. 雨天時対応

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、前夜祭における中止の判断は 17:25 までに行った。

8. 写真・ビデオ撮影

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、後夜祭における委員会開催企画のうち、企画内容を記録として残すことに権利上問題がないものに関しては撮影・録音を認めた。

9. 警備

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、ステージ企画に対する警備について、企画内容が何らかの危険を伴うものに関しては、学実委と企画責任者の間で協議を行い、警備を行った。

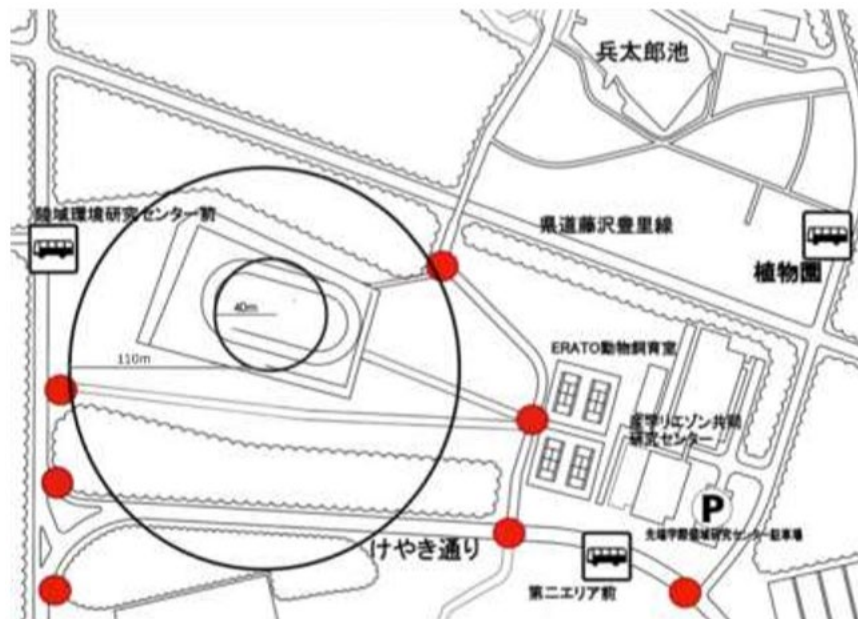
10. 花火の打ち上げ

(1) 打ち上げ日時

実計通りに行った。

(2) 交通規制

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、花火師との協議の結果、立ち入り禁止区域を打ち上げ現場から直径 110m の円形の範囲（図、実線黒内）に変更した。



図：立ち入り禁止区域

(3) 中止判断

実計通りに行った。

(4) 警察署及び消防署への申請

実計通りに行った。

(5) 周知

① 回覧板

実計通りに行った。ただし、日程については、9月24日（火）に行った。

②交通規制看板

実計通りに行った。ただし、日程については、11月1日（金）に行った。

③打ち上げ場所周辺施設への注意喚起

実計通りに行った。ただし、日程については、文書送付は10月24日（木）、看板設置は11月1日（金）に行った。

④打ち上げ場所周辺駐車場利用者への注意喚起

実計通りに行った。ただし、日程については、10月31日（木）に行った。

⑤ループ道路を利用する公共交通機関への交通規制の説明

実計通りに行った。ただし、日程については、9月26日（木）に行った。

11. UNITED ステージにおける交通規制・自転車撤去

(1) 交通規制

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、ステージ解体に伴うフェンスの解除を11月4日（月）22:00頃までに行い、11月5日（火）における交通の規制は安全性に問題がないとして、行わなかった。

(2) 自転車撤去

実計通りに行った。

J. 本部企画局

1. 学術部門

(1) 受験応援

実計通りに行った。来場者数は約900人であった。

(2) つくば研究紹介

実計通りに行った。来場者数は約1200人であった。

(3) 水の実験教室

実計通りに行った。来場者数は約1500人であった。

2. 装飾部門

(1) ピアノ階段

実計通りに行った。

(2) らくがきコーナー

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、11月2日（土）での設置が困難だったため、その日は企画を実施しなかった。

(3) 光のアート

実計通りに行った。

(4) ウィンドウディスプレイ

実計通りに行った。

(5) 休憩所装飾

実計通りに行った。

(6) イルミネーション

実計通りに行った。

(7) 雙峰祭オブジェ

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、中央図書館と第一エリアの間の橋は通行量が多く危険なため、実施場所を中央図書館前に変更した。

(8) 雙峰祭装飾大看板企画

実計通りに行った。

3. 来場者参加型部門

(1) ゆるキャラ®企画

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、屋外練り歩きを 1E103 と 1D 棟前の往復に変更した。来場者数は約 1000 人であった。

(2) 子ども劇

実計通りに行った。観客数は約 400 人であった。

(3) ペったんこラリー

実計通りに行った。参加者数は約 470 人であった。

(4) 樽酒振る舞い

実計通りに行った。来場者数は約 2500 人であった。

(5) El misterio (エルミステリオ)

実計通りに行った。来場者数は約 1100 人であった。

(6) ワールドクイズラリー

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、実施日時を 11 月 3 日（日）10:00~18:00、11 月 4 日（月）10:00~16:00 に変更した。また、回答用紙を来場者に広く頒布するため、回答用紙の配布場所を本部企画局本部テント、各案内所に変更した。参加者数は約 300 人であった。

4. 前夜祭部門

(1) つくバラエティー

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、クイズを割愛し、大喜利のみを行った。また、控室を 3A205 に変更した。

(2) TSUKUBA COLLECTION 2019

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、前夜祭では、シチュエーションパフォーマンスの代わりに、トークコーナーを設けた。

(3) 前夜祭パフォーマンスショー ～ゆらぎ～

実計通りに行った。

5. 後夜祭部門

(1) 後夜祭パフォーマンスショー

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、更衣室の 3A409 を 3B409 に変更した。また、荷物置き場として 3A422 と、音出しの教室として 3B405 を使用した。

(2) 雙峰祭グランプリ 2019

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、控室を 3A205 に変更した。また、広く投票を行うため各案内所でも投票を行った。

(3) つくばお笑いライブ 2019

実計通りに行った。

6. 休憩所の運営

実計通りに行った。

K. 案内所運営部会

1. 当日の運営体制の管理

実計通りに行った。

2. 案内所の運営

(1) 来場者対応

実計通りに行った。

(2) 企画対応

実計通りに行った。

3. 消火器の設置

実計通りに行った。

4. 当日の巡回

実計通りに行った。

5. 雨天時・強風時の対応

実計通りに行った。

6. 緊急時の対応

(1) 傷病者・嘔吐者発生時の対応

実計通りに行った。

(2) 火災発生時の対応

実計通りに行った。

(3) 地震発生時の対応

実計通りに行った。

L. 調査専門部会

1. 来場者を対象としたアンケートの実施

実計通りに行った。

2. 企画団体を対象としたアンケートの実施

実計通りに行った。

3. 観察調査の実施

実計通りに行った。総来場者数は約 3 万 2000 人であった。

4. 福引所の運営

実計通りに行った。

M. ブランディング専門部会

1. 学園祭公式テーマソングの募集・決定

(1) 目的

実計通りに行った。

(2) 募集時期

実計通りに行った。

(3) 募集方法

実計通りに行った。

(4) 投票時期

実計通りに行った。投票期間は 7 月 22 日（月）～8 月 4 日（日）とした。

(5) 作品の取り扱いに関して

実計通りに行った。

2. 学園祭公式マスコットキャラクターの募集・決定

(1) 目的

実計通りに行った。

(2) 募集時期

実計通りに行った

(3) 募集方法

実計通りに行った。

(4) 投票時期

実計通りに行った。投票期間は 7 月 22 日（月）～8 月 4 日（日）とした。

(5) 作品の取り扱いに関して

実計通りに行った。

3. 会場動線の整備支援

(1) のぼりの設置

実計通りに行った。設置場所は、第一エリア前バス停と松美池、および大学公園バス停と福引所の間だった。

(2) 横断幕の設置

実計通りに行った。

4. 学園祭公式グッズの制作・販売

(1) 販売品目

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、「LINE スタンプ」および「LINE 着せ替え」については、平成 26 年度に学実委の電話番号を利用してアカウントが作成されており、パスワード・再設定用のメールアドレスともに不明であったため、制作・販売が困難と判断し、販売品目から除外した。

(2) グッズ製作発注先

実計通りに行った。

(3) 販売方法

実計通りに行った。

5. 協賛物品の学内頒布支援

実計通りに行った。

N. その他の業務

実計通りに行った。